

公立大学法人 大分県立看護科学大学
平成26事業年度の業務実績に関する
全体評価結果

平成27年7月

大分県地方独立行政法人評価委員会

全体評価

評価結果と判断理由

評価結果

全体として年度計画を順調に実施している。

判断理由

- ① 大項目のうち「Ⅰ大学の教育研究等の質の向上に関する目標」の項目についてはS評価（特筆すべき進行状況にある）、「Ⅱ業務運営の改善及び効率化に関する目標」、「Ⅲ財務内容の改善に関する目標」、「Ⅳ自己点検・評価及び情報の提供に関する目標」、「Ⅴその他業務運営に関する目標」のいずれの項目もA評価（計画どおり進んでいる）であること。
- ② 「Ⅰ大学の教育研究等の質の向上に関する目標」に関して、学部4年間の看護師教育では、26年度までの4年間の検証結果を踏まえてカリキュラムを改定し、県内初となる「養護教諭（1種）養成課程」の開設や、文部科学省のCOC事業を活用して試行してきた「予防的家庭訪問実習」の本格実施を決定したこと。
大学院修士課程では、全国に先駆けてNP（診療看護師）教育など専門性の高い看護職養成等の取組を続けた成果が、昨年度、法改正による「特定行為に係る看護師の研修制度」の創設に繋がるとともに、その後も同制度における指定研修機関の指定に向けて着実に準備が進んでいること。

<委員会からのコメント>

NP教育は、全国に先駆けた取組で成果も現れており、高く評価できる。

【参考：大項目評価の結果】

I 教育研究等の 質の向上	S 特筆すべき 進行状況	A 計画どおり	B おおむね 計画どおり	C やや遅れて いる	D 重大な改善 事項あり
II 業務運営の改 善及び効率化	S 特筆すべき 進行状況	A 計画どおり	B おおむね 計画どおり	C やや遅れて いる	D 重大な改善 事項あり
III 財務内容の改 善	S 特筆すべき 進行状況	A 計画どおり	B おおむね 計画どおり	C やや遅れて いる	D 重大な改善 事項あり
IV 自己点検・評 価及び情報提供	S 特筆すべき 進行状況	A 計画どおり	B おおむね 計画どおり	C やや遅れて いる	D 重大な改善 事項あり
V その他業務運 営	S 特筆すべき 進行状況	A 計画どおり	B おおむね 計画どおり	C やや遅れて いる	D 重大な改善 事項あり

公立大学法人 大分県立看護科学大学
平成26事業年度の業務実績に関する
項目別評価結果

(大項目評価)

平成27年7月

大分県地方独立行政法人評価委員会

大項目評価

I 大学の教育研究等の質の向上に関する目標

(1) 評価結果

評価結果	S 特筆すべき 進行状況	A 計画どおり	B おおむね 計画どおり	C やや遅れて いる	D 重大な改善 事項あり
------	---------------------------	------------	--------------------	------------------	--------------------

(2) 判断理由

- ①小項目評価の集計結果では、39項目のすべてがⅢ（順調に実施している）又はⅣ（上回って実施している）であること。
- ②学部4年間の看護師教育について、26年度までの4年間の検証結果を踏まえてカリキュラムを改定し、県内初となる「養護教諭（1種）養成課程」の開設や、文部科学省のCOC事業を活用して試行してきた「予防的家庭訪問実習」の本格実施を決定したこと。
- ③全国に先駆けてNP（診療看護師）教育など専門性の高い看護職養成等の取組を続けた成果が、昨年度、法改正による「特定行為に係る看護師の研修制度」の創設に繋がるとともに、その後も同制度における指定研修機関の指定に向けて着実に準備が進んでいること。

【参考：大項目評価に当たり勘案した事項】

- 教育の内容及び到達目標
- ・学部4年間の看護師教育について、26年度までの4年間の検証結果を踏まえ、27年度からの実施に向けカリキュラムを改定するとともに、時間配分・教員配置等の準備を完了した。
 - ・新カリキュラムでは、養護教諭1種養成教育も行うこととし、文部科学省の認定を受けた。
 - ・文部科学省の地（知）の拠点整備事業(COC)に採択された「看護学生による予防的家庭訪問実習を通じた地域のまちづくり事業」として、学生が在宅高齢者を継続訪問し健康維持の支援を目指す実習方法を検討し、27年度から新たな実習を導入する準備を完了した。
 - ・NP養成教育の評価として実施してきた調査研究の成果を論文（英文含む。）として学術誌等に発表し、その意義を国内外に発信した。
 - ・県内の公的機関による研究計画の倫理・安全面の審査を本学で受けられるよう、申請要項を整備した。
- 研究
- ・東九州メディカルバレー構想に基づいた医療機器研究開発補助事業（25年度）助成を受け脳卒中患者リハビリ用の電気刺激装置を県内企業および病院と共同開発した。
 - ・大分県介護予防運動機能向上専門部会と開発した介護予防運動「めじろん元気アップ体操」のパンフレットや普及用DVDを作成した。
- 社会貢献
- ・大分県スポーツ学会、大分県看護協会等と協力してスポーツ救護講習会を開催し、過去3年間で、517名のスポーツ救護ナースを育成した。

【参考：小項目評価の集計結果】

分類	評価対象項目数	I 実施して いない	II 十分に実 施できて いない	III 順調に実 施してい る	IV 上回って 実施して いる
教育	21(10)			12(2)	9(8)
研究	6(2)			3	3(2)
社会貢献	12(5)			7(1)	5(4)
合計	39(17)			22(3)	17(14)
ウエイト考慮 後の合計	56			25	31

(注) 1 () は、ウエイト付けした項目数である。

2 大項目評価は、ウエイト考慮後のⅢ及びⅣの割合により決定する。

※小項目評価の集計結果では、39項目のすべてがⅢ又はⅣの評価であるため、A評価(計画どおり進んでいる)となる。ウエイト付けした項目を考慮しても同様の結果である。

(3) 評価に当たっての意見、指摘等

NP教育は、全国に先駆けた取組で成果も現れており、高く評価できる。

Ⅱ 業務運営の改善及び効率化に関する目標

(1) 評価結果

評価結果	S 特筆すべき 進行状況	A 計画どおり	B おおむね 計画どおり	C やや遅れて いる	D 重大な改善 事項あり
------	--------------------	------------	--------------------	------------------	--------------------

(2) 判断理由

- ①小項目評価の集計結果では、15項目のすべてがⅢ（順調に実施している）又はⅣ（上回って実施している）であること。
- ②各種審議会・委員会への教員の積極的派遣や、同窓会を交えたホームカミング日の開催など開かれた大学運営による地域貢献に取り組んでいること。

【参考：大項目評価に当たり勘案した事項】

- 開かれた大学運営
- ・看護の質の向上等、地域に貢献するため、教員を積極的に各種審議会・委員会の委員として派遣した。
 - ・本学同窓会と大分県立厚生学院同窓会と本学の3者共催のホームカミング日を、大学祭（若葉祭）に合わせて実施するなど、在校生と地域の看護職の連帯意識を醸成した。

【参考：小項目評価の集計結果】

分類	評価対象項目数	I 実施して いない	II 十分に実 施できて いない	III 順調に実 施してい る	IV 上回って 実施して いる
運営体制	7(4)			1	6(4)
人事の適正化	8(1)			6	2(1)
合計	15(5)			7	8(5)
ウエイト考慮 後の合計	20			7	13

(注) 1 () は、ウエイト付けした項目数である。

2 大項目評価は、ウエイト考慮後のⅢ及びⅣの割合により決定する。

※小項目評価の集計結果では、15項目のすべてがⅢ又はⅣの評価であるため、A評価（計画どおり進んでいる）となる。ウエイト付けした項目を考慮しても同様の結果である。

(3) 評価に当たっての意見、指摘等

特になし

Ⅲ 財務内容の改善に関する目標

(1) 評価結果

評価結果	S 特筆すべき 進行状況	A 計画どおり	B おおむね 計画どおり	C やや遅れて いる	D 重大な改善 事項あり
------	--------------------	------------	--------------------	------------------	--------------------

(2) 判断理由

- ①小項目評価の集計結果では、20項目のすべてがⅢ（順調に実施している）又はⅣ（上回って実施している）であること。
②教育研究の充実に向け、積極的に外部資金を獲得していること。

【参考：大項目評価に当たり勘案した事項】

○自己収入及び外部資金の獲得
・文部科学省・学術振興会科学研究費は15件、計3,666万円、受託研究は環境省環境研究総合推進費5,403万円、公益財団法人原子力安全研究協会の受託研究901万円、日本学術振興会の外国人招へい研究者（短期）事業51万円を獲得するなど、教育研究の充実に貢献した。

【参考：小項目評価の集計結果】

分類	評価対象項目数	I 実施して いない	II 十分に実 施できて いない	III 順調に実 施してい る	IV 上回って 実施して いる
自己収入・外 部資金の獲得	6 (2)			4	2(2)
経費の効率化	6			6	
資産の適正管 理・有効活用	8			8	
合 計	20 (2)			18	2(2)
ウエイト考慮 後の合計	22			18	4

(注) 1 () は、ウエイト付けした項目数である。

2 大項目評価は、ウエイト考慮後のⅢ及びⅣの割合により決定する。

※小項目評価の集計結果では、20項目のすべてがⅢ又はⅣの評価であるため、A評価（計画どおり進んでいる）となる。ウエイト付けした項目を考慮しても同様の結果である。

(3) 評価に当たっての意見、指摘等

特になし

IV 自己点検・評価及び情報の提供に関する目標

(1) 評価結果

評価結果	S 特筆すべき 進行状況	A 計画どおり	B おおむね 計画どおり	C やや遅れて いる	D 重大な改善 事項あり
------	--------------------	------------	--------------------	------------------	--------------------

(2) 判断理由

①小項目評価の集計結果では、10項目のすべてがⅢ（順調に実施している）であること。

【参考：大項目評価に当たり勘案した事項】

特になし

【参考：小項目評価の集計結果】

分類	評価対象項目数	I 実施して いない	II 十分に実 施できて いない	III 順調に実 施してい る	IV 上回って 実施して いる
自己点検・ 自己評価	4			4	
情報公開・ 情報発信	6			6	
合 計	10			10	
ウエイト考慮 後の合計	10			10	

(注) ウエイト付けした項目はない。

※小項目評価の集計結果では、10項目のすべてがⅢの評価であるため、A評価（計画どおり進んでいる）となる。

(3) 評価に当たっての意見、指摘等

特になし

V その他業務運営に関する目標

(1) 評価結果

評価結果	S 特筆すべき 進行状況	A 計画どおり	B おおむね 計画どおり	C やや遅れて いる	D 重大な改善 事項あり
------	--------------------	------------	--------------------	------------------	--------------------

(2) 判断理由

- ①小項目評価の集計結果では、18項目のすべてがⅢ（順調に実施している）又はⅣ（上回って実施している）であること。
②図書館だよりの創刊など、地域に開かれた図書館づくりが進んでいること。

【参考：大項目評価に当たり勘案した事項】

- 施設・設備の整備・活用
・「図書館だよりの」を創刊。大学ホームページに掲出を開始し、新着図書紹介や図書館の利用方法などを紹介した。
○大学の安全管理
・学生の健康管理、相談について、保健室が窓口となり、学生生活支援委員会と連携して対応することとした。

【参考：小項目評価の集計結果】

分類	評価対象項目数	I 実施して いない	II 十分に実 施できて いない	III 順調に実 施してい る	IV 上回って 実施して いる
施設・設備の 整備・活用	5 (1)			4	1(1)
安全管理	9 (2)			5	4(2)
人権尊重推進	4 (1)			3	1(1)
合 計	18 (4)			12	6(4)
ウエイト考慮 後の合計	22			12	10

(注) 1 () は、ウエイト付けした項目数である。

2 大項目評価は、ウエイト考慮後のⅢ及びⅣの割合により決定する。

※小項目評価の集計結果では、18項目のすべてがⅢ又はⅣの評価であるため、A評価（計画どおり進んでいる）となる。ウエイト付けした項目を考慮しても同様の結果である。

(3) 評価に当たっての意見、指摘等

特になし